

国立国語研究所学術情報リポジトリ
『田名部辯語彙集』記載語彙のアクセント資料

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2020-08-21 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: ローレンス, ウェイン メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/00002997

『田名部辯語彙集』記載語彙のアクセント資料

ローレンス・ウエイン¹

1はじめに

東北北部三県の方言の単語は単独では一音節がほかより高く発音される。単語の一ヶ所のみが卓立するために、話者にとってそのアクセントは意識されやすいと思われる。そのために地元の方言集の多くはアクセントを記録している。例えば、山村（1980）の青森県東津軽郡平内方言は高い音節が太字ゴシックで、秋田県学務部学務課（1929）の秋田県諸方言や成田（2002）の青森県西津軽郡木造町方言は高い音節が傍線によって表示されている。工藤（2008）の青森県南部の諸方言や関谷（2013）の岩手県上閉伊郡吉里吉里方言では傍点が使われている。しかし一方では、下北地方の旧田名部町（現青森県むつ市東部）の方言集『田名部辯語彙集』（川嶋 2002）はアクセントの記載がない。本稿ではこの欠を補うべく、川嶋（2002）（以下『語彙集』という）記載の語彙を調査して、そのアクセント資料を提示する。

2田名部方言

2.1 話者と表記

調査は2019年4月13日～15日と8月29日～31日に、むつ市の曙町集会所で行った。話者は次の5名である（敬称略）²。

川村丈夫（昭和19年生）	石澤 正（昭和19年生）
望月節子（昭和24年生）	川畑久枝（昭和20年生）
其田静子（昭和14年生）	

本稿の資料の方言形は音声表記で示し、使用する音調記号は次のとおりである。

[: 音調の上昇] : 音調の下降]] : 拍内下降 [[: 拍内上昇

地名の田名部は現地では低-高-低の音調で、これは ta[nɑ]buu のように表記する。語末音節が二つの [[に囲まれている語形は無アクセントである。例えば ka[mɑ] 「鉄瓶」とあるのは、

¹ ローレンス・ウエイン：オークランド大学・上級講師 (wp.lawrence@auckland.ac.nz)

² 話者の方々に対して心より深く感謝する。また、曙町町内会長の大久保三郎氏に対しても、氏のご協力があってこそこの調査を成し得たので、ここに謝意を表する。

単独形の発音は *ka[ma]* で、助詞が付くと *kama[▷]*（例えば *kama[ba]* 「鉄瓶を」）という発音になることを意味する。語末の] と]] は音声的な変種であり、ともに語末アクセントである。拍内上昇はアクセントではなく、文イントネーションである。下降記号の後の上昇記号は *o[se][ka]rū* 低-高-中-低、*kok[ki]ki[gū]* 低-高-低-中のように半上昇を表す。

本稿では資料を『語彙集』の順に並べた（付したページ番号は『語彙集』のページ番号である）。時間の都合で、『語彙集』掲載の連語（例えば *[a]rūmondene* 「不埒な奴」）ならびに辞書形以外の活用形は基本的に調査しないことにした。それ以外、『語彙集』には載っているが、本稿にない語形は話者に別の方言（津軽方言、東通方言、上北方言）と断定された単語か、あるいは話者が聞いたことがないと言った単語である。また、『語彙集』にない語形（例えば上野（1991, 2019）の青森県方言の形容詞と動詞の資料にある俚言）もいくつか併せて調査した。それらに関しては下記の資料でその語形の前に + を付した。

2. 2 アクセント資料

p.1 [a]iko ミヤマイラクサ [山菜]

aocī[ei] かもしか

a[ga] 滷

+ *a[ga]* 堀

aga[ri] 灯り、明るい

a[gū] 灰

+ *a[gū]* 野菜の灰汁

akūta[re]] 増まれ者

+ *⁴zū[rū]ske* 増まれ者 + *⁴zū[rū]skedo* 増まれ者たち

kanja[do] 足

+ *agūdoja[ra]mi* 藪沓を履くとき、足を寒さから守るために足の周りに巻く布

age[bi] あけび

p.2 *a[ŋe]tamū[ge]* 供え物すること

+ *tamū[ge]rū* 供える

aŋemo[no] 供え物

akko[ra],akkora[hen] あの辺

asa[rū] 揉き集める

aq[ka]da 足跡

a⁴zū[ga]rū 預かる *a⁴zū[ge]rū* 預ける

a⁴zū[ba]rū 集まる *a⁴zū[be]rū* 集める

aso^m[bū] 遊ぶ

+ *aso^mpi[sa]* ~ *aso^mbi[sa]* ~ *aso^mbū[sa]* 遊びに（行く）

+ *[to]sa i[gū]* 取りに行く

- andzüügi^dze[fo] 芋虫
a[se] 浅い
ase^m[bo]] 汗疹
- p.3 asogoa[da]ri そこら辺
ada[rüü] 当たる
atta[ni] あんなにも
a[de ne]] 値打ちがない
adoha[da]ri 一旦決まってしまったことに対して不満を言う
adophi^w[gi] 二次会
ado[ma]rüü 後回しにする、後ろの方になる
- p.4 a^mbüü[güü]] 泡
[a]^(m)be 一緒に行こう [命令形]
ame[rüü] 飯える
a[mo]ko 化け物 [子供に対して使う言い方]
+ bagemo[no]] 化け物
aja[ga]rüü 肖る、戯れつく
a[ja]ko お手玉
+ aja[to]ri 綾取り
arage[ne] 荒々しい
arasanya[ei] 欠点探し
arida[ge] すべて
arügima[wa]rüü 歩き回る
- p.5 a[rüü]güü 歩く
awage[ne]] 泡のように毀れやすい
awa[sa]rüü 寸法が合う
+ a[wa]rüü 寸法が合う、気性が合う
aŋ[ko] おはじき
+ aŋ[ko] 餡
[an]tea 若い男
+ [net]tea 未婚女性
am[be]] 調子
iga[ge] 鋳鉄溶接
+ igage[ja]] 鍋釜を修理する人
- p.6 + o[go]rüü 怒る
iŋi[a]üü 会う
iŋiŋi[wa], iŋici[na] 行き際

i[gü] 行く、帰る

p.7 i[ge]rü 埋める、植える

üno[ga]sü ~ üno[ga]sü 動かす

isa[ba] 魚屋

isü [wa]rü 居座る

+ i[da]ko 口寄せ巫女

ida[ma] 板の間

idawa[ei] 勿体ない

izü[gü]rü ~ i^dzi[gü]rü 弄る

i[(nd)zi]rü いじめる、いじる

[i]züga[ka]züga いつの日か

ikimo[ki] 短気、せっかち

iküra[neN] いい加減

p.8 izüküra[ei] 違和感がある (話者によつては itsüküra[ei])

iceokü[ta](N) 全部一まとめ

[i]zidari[ka]zidari 不定期

itteo[me] 一人前

ittogi[ma] ちょっとの間

ip[pü]gü 一休み

ip[pe] たくさん

ina[gu]eta ~ [na]güeta 紛失した

iφüriko[gi] ~ eφüriko[gi] 見栄張り、洒落者

p.9 ira[rü] 入用である

+ ügi[rü] 浮く

üeiro[kü^m]bi 後頭部、盆の窪

üské[ne] 劣っている

ü[zü]rü 感染する

üş[pa] 薄刃の包丁

üso[ko]gü 嘘をつく

üsoko[gi] 嘘つき

p.10 ü[so]sü 嘘をいう

üda[de] 気持ちがざわめき、不安

ü[da]rü 暑氣当たりする

üda[rü] 歌う

üzüge[rü] 甘える

ü[me] うまい

ütüü[ga]sü ふやかす、ずっと後まで先延ばしする
ütüü[da]gü あわてる、気持ちが動搖する
+ üre[rü] (品物がよく) 売れる + ü[re]rü 売ることができる
[ün]konoki ~ [on]konoki イチイ [樹]
ütüügü[maj]rü しゃがむ

p.11 i[n^d]zi] ~ e[n^d]zi] 窮屈
i[d]ziküra[ci] ~ e[d]ziküra[ci] 違和感で窮屈
eɸüriko[gi] ~ iɸüriko[gi] 見栄張り、洒落者
e[hep]po 根性枉げ

p.12 e[he]rü ぐずる、すねる
ehera[ga]sü 相手の気持ちを損ねる
i(n)dzikera[ga]sü ~ e(n)dzikera[ga]sü 手を加えておかしくする
[en]tsko 藟網の赤ん坊入れ
o:meci[ŋü]i 大食漢
[o:]jage 裕福な家

p.13 oga[ci] 変だ、おかしい
oga[ken]ta おかしな
o[na]rü 動物などが育つ、毛が伸びる
onara[ga]sü 育てる
o[gi] 煙
ogüri[to] 送り人
üt[ŋü]i ウグイ [魚]
koro[m]bü 転ぶ
ogosa[ma]ci[[na 怒らないで
+ o[go]rü 怒る
o[gok]ko 漬物 [幼児語]
o[ci]züga[ni 静かにしなさい
o[n]zo[me]gü, o[n]zo[mü] 尻込みする、おじける

p.14 o[se][ka]rü 重石を乗せる、アイロンをかける
o[tcaŋ]ko お座り [幼児語]
okkanaga[rü] 怖がる
okka[ne] 恐ろしい
[ok]kitा 大きな
+ ok[ke]rü 転ぶ + ok[ke]sü 倒す
ots[ke] ~ ozü[ge] 味噌汁
ot[tei] 啓

ottṣ[ke]rū 押し付ける

+ oⁿdoga[sū] 脊かす

oppiro[ŋe]rū 広げる

[tot]tea 父

[a]ŋo 頸

a[ŋo]ta 頸、頸の先端

odode[na]] 一昨日

odoro[ga]sū 目覚めさせる、びっくりさせる

p.15 odo[fo]gū 目覚める、びっくりする

o[ha]ŋi ご飯を餡で包んだもの

o^m[be]rū 覚える

o^m[bo]rū, o^m[bū]rū (人を) おんぶする

+ eo[rū] ~ eo[ū] (荷を) 背負う

o^mbo[sa]rū おんぶさせる (自分がしてもらう)

o^mbo[se]rū ~ o^mbo[he]rū (人を人の背中に) 背負わせる

ū[ma]] ~ m[ma]] ~ o[ma]] 馬

+ tana[bū]ūma 田名部馬

oma[rū] 携帯便器

o[me[お前

ome[da]] お前の家

p.16 ome[do] お前達

omeni[ka]te お前のせいで

omoēi[re]: 嬉しい、楽しい

omo[de] 重い

o[mo]ū 思う

ojagūma[gi] 親類

kari[rū] 借りる

kai[ma::]s 子供の買い物時の挨拶

[ka]ga 妻

kanjama[rū] しゃがむ

+ kaja[mū] 屈む

p.17 kagara[e]rū 攻撃される

kanjizū[ge]] 自在鉤

+ [ka]⁽ⁿ⁾da 火棚 (炉の上に天井から吊るした棚)

[ka]gū 插く

ka[gū]sū 隠す (「しまう」の意味はない)

+ kadazü[ge]rü しまう
kagü[(d)zi] 屋敷内で家の後ろにある土地や蔵
ga[sa]ebi, eakoe[bi] しゃこえび
kae[i]ŋa]rü 傾く kae[i]ŋe]rü 傾ける
[ka]spe エイ
[kaⁿ]dze うに
+ [ü]ni ばふんうに
+ [no]na うにの一種
ka[se]rü ~ ka[he]rü 食べさせる

p.18 ka[da]ho ~ ka[dap]po 片方

ka[da]küra 偏屈
kada[bik]ko 履物などの片方だけ、びっこ
kadajü[gi] 表面が凍結した春先の雪
ka[da]rü 仲間に加わる、夫婦になる
+ kada[rü] 話す、講演する、説得する
ka[tœa]gü 引っ搔く、搔く
katea[ma]sü めちゃくちゃにする
[gak]ka 戸主妻
boribo[ri] ナラ茸
[gak]ko 濡物 [幼児語]
gattea[gi] 痘
+ ei[bi]gatteagi 手のひび割れ

p.19 kat[tsü]gü 追いつく

[gap]pa, [ge]ro 雪すべり下駄 (少女用)
kü[ra]ü 食らう
kap[pa]rü 盜む
+ kappa[ra]i どろぼう
kap[po]lü 握き込むように急いで食べる
kantskewa[ra]ei 発育不良児
maⁿze[mę]ei 混ぜご飯
ka[de]rü 加える
ka[to]sü 追い越す (話者によっては kat[to]sü)
ka[ne] 鉄漿

p.20 kapüke[rü] 黴びる、おできの瘡ができる (話者によっては ka^mpüke[rü])

ga[he ne]] 体力がない
ka[he]lü ~ ka[se]lü 稼ぐ、労力を使う

kaeriei[na] 帰り際

ka[ma] 鉄瓶

ka[ma]sü 搔き回す

+ kama[sü] 匂いを嗅がせる

+ ka[ŋü] 嗅ぐ

+ kama[sü] 藢袋

kamadoke[ɛi] 倒産した人

+ kamado[ke]sü 倒産する

+ kama[do] 一戸の家の経済状況

kama[ri] 匂い

+ kama[rü] 匂う

ka[ma]ü 構う、関わる

kamo[sa]na ~ kama[sa]na 拘るな、いじるな

p.21 ka[ra] 体 (～ばかりでっかくて)

karaüsoko[gi]] 嘘つきめ

+ man[to]:, semmi[tsü] 大嘘つき

kara[ŋa]gü, kara[ŋe]rü 縛る

karakinⁿ[dzi] わがまま勝手

karakü[zü] 口答え

karako[ea]gü ~ kara[ko:]ęagü 余計な節介

karakop[pe] 見栄張り

karaheŋ[ki] 余計な神経

karappo(ne)ja[mi] 懈け者

ga[ra] wa[ri] 品性が悪い

karika[ri] 疡癬

p.22 [ka]rü (鍵を) かける

gawa[ri] 周辺

ganjküra[a]dama ぱっとしない人

kan[ŋe]rü 考える

kantske[rü] なすりつける

kan[na]] 縫い糸

ka^mpüketa[ga]ri 瘡蓋がいっぱいの人

ga^m[be]] 頭にできた瘡

+ ga^mbeta[ga]ri 頭に瘡蓋がいっぱいの人

kjkaⁿ[zü] 難聴者

+ kjkaⁿzüsa[ma] 聞かない人

p.23 kigase[rü] ~ kɔ:kase[rü] ~ kigahe[rü] ~ kɔ:kahe[rü] 聞かせる

kɔ:ka[ne] やんちや、喧嘩強い

kɔ:i[kam]po 腕白坊や

+ [ki]ŋi 杣

kɔ:ke[rü] 聞こえる

so[ma]ɸü 桧夫

kɔ:nziri[eip]pa 横座の向かいの座

kaga[za] 客座の向かいの座

kɔ:ita[ŋi]rü 切る

kɔ:ikküra[he]ŋki ~ gikküra[he]ŋki 腰痛

kɔ:t[tei] 飼い葉桶

ki[na] 昨日

kinakü[se] 焦げ臭い

ki^mbacɔ:k[ko]i 利発 (多少ずる賢い)

+ kɔ:ippaci[ne] 素早い

ki^mbi[teo] 急須

kɔ:se[rü] ~ kihe[rü] 着せる

[ki]mi トウモロコシ

p.24 ki[mo]ja[gü] ~ ki[mo]jage[rü] 癖に障る、心がいらだつ

ki[ra⁽ⁿ⁾]zü 豆腐の絞り滓

[ki]ri 際限

kirümo[no] 着物

küi[bü]zi 食い分 (話者によつては küi[bü]tei)

[gü]:[gü]do 急いで、速く

kü[e]rü ~ küp[pe]rü 塞ぐ

kü[ŋo] ハマスゲ

küsare[e] 古くなった家

p.25 güⁿ[dze]rü ~ güⁿ[dzü]rü 不満をぶつぶつ言う

[kü]:eta 心配した

küsaja[mi]^{フワリ} 悪阻

küta^m[ba]rü 死ぬ [卑語]

gü[da]ma[gü] ~ kü[da]ma[gü], güda[me]gü 不平をいう

[kü]damonda 心配だ

kü[team]berü べちゃべちゃしゃべる

kü[dzi]joŋo[ei] 少量の食べ物

p.26 kübima[gi] 襟巻

kübe[rü] 焼べる

+ kü[m][ba]rü 運ぶ

kümakagüü[ei] 欠点隠し

kü[m]a]rü もつれる、からまる

+ kügüü[rü] (糸を) 繰る

kü[rü]m[bü] ~ kü[rü]m[mi] 胡桃

kü[rü]m[ma]rü (毛布に) 包まる

+ kü[ro] 畔

kü[wä]rü 塞がる

[ke:]fan 卵型の餡入り餅が入っている醤油ベースの汁

[ke:]sü 返す

ke[ga]zi 飢饉

kekka[ra] 貝殻

p.27 kek[ko] お粥

ke[ci]gi 雪除け用ショベル

ge[n]da[ga] 毛虫の総称

+ kü[m]ge[n]daga 大きくて黒い毛虫

[ke]zügare 消えちまえ [卑語]

[ke]tca, [kep]pa 裏返し

[gep]pa びり

+ ketsükkü[se] けちな

ketsüma[zü]güü 蹤躡く

ke[n]do] 家の戸

+ ke[n]do] 道路

ke[n]doba[da] 路肩

p.28 [ke]na 腕

ke[ne] ひ弱い

[ke]:[ne]] 大したことない

ke[m][ba]] 食を盛る葉

kemüü[te] ~ ke[m]püü[te] 煙たい

ke[ra] きつつき、蓑

ke[rü] 消える、上げる、呉れる

[ke]rü 食べられる

[kem]pigüü 肩の三角筋

ko[ae] ~ ko[ai] 下味をつけて煮た大根・人参などを鱈子で和えた料理

p.29 [ko]i ~ [ko]e 堆肥

koiⁿda[me]] 肥溜め

+ go:[zo:]nyūra 飢饉に備えて食糧を蓄えた村営の蔵

+ ko[sü] 漏す

ko[we]: 疲れる

go[we]kirü 威張る

ko[nja]] 大樽

ko[nje]: お焦げ

ko[k^či]tane うす汚い

[ko]gü する

[ko]nyü 歩く

gogütsü[bü]ei 無駄飯食い

ko[gü]wa サルナシの実

p.30 gokotsü[ma]ri ~ goko^dzü[ma]ri 吃り + goko^dzü[ma]rü 吃る

konjo[ri[塊

[ko]sa^mbiei[ne]] どこか淋しい

goⁿza[ra]sü 恥さらし、失態

go^dzoppa[ri[強情を張る者 [強意]

kosae[rü] 拙える

kose[rü] ~ kohe[rü] 拙える

goda[gü[不平不満

koⁿda[ei[腰につける物入れ籠

godama[gü]] 内臓、がらくた不用品

+ [ko]tei 東風

koteona[sü] くすぐる

kok[k^či]k^či[gü] 気が付く

p.31 kok[ko[子供

+ kok[ko]ü[ma[仔馬

kotta(ra)[ni こんなに

kot[tea] こちら

+ koppaⁿzüga[ei]] 小うるさい

koppaⁿzüga[ei]] 恥ずかしい

kone[da]] この間

konobüttei[ko] たったこれだけの量

ko^mbita[ga]ri 堀だらけの人

ko^mbi[ri[軽い間食

+ ko^mbüra[ke]rü 足がつる

ko[ma] 馬

p.32 koma[rü] お辞儀する

[go]me 鳴

go[mo]küso 不平不満、ぶつぶつ

ko[ri][mi]rü こりごりする

koremi[sä]i これこれちょっと [呼びかけ]

goro^(d)zü[gü] 無理難題言っておどかす

kon^(d)zi 小路

gon^(d)za[ra]sü 恥さらし

[ko]nta 今度は

kontsükeraga[sü] ややこしくこんがらかす

gom[pe]] ハゼの一種

gombo[ke]rü 駄々をこねる

gomboho[ri]] 駄々をこねる人

p.33 saga[ci]] 賢い

sa[ga]pera なだらかな坂

saka[mak]ko ままごと

saki[ta] さつき

sagi[no]ba[ŋe] 一昨日の晩

sagürado[ri] むく鳥

sa[ge] 境

saga^m[bü] ~ sage^m[bü] 叫ぶ、大声でしゃべる

mo[sü] 燃やす

[sas]sado 急いで

p.34 sa^m[bi]] 寒い

samü[ke] 寒氣

sahe[rü] ~ sase[rü] させる

sa[me]rü 冷める、色あせる

sarü[ke]] 泥炭

sarükko[zi]ŋi 見栄えた遠慮

[jat]to [sa]re はやく去れ [男ことば]

+ [jat]to iga[se] はやく去れ [女ことば]

san^dza]gü 三尺帶

[san]dansü[rü] 計画する、あれこれ考える

san[to] 妊婦

p.35 sam[ma] , + de[ma]do 煙を出すための出窓

^dzen[ŋo] 田舎

^dzen[ko]] お金

+ [dze]ni 硬貨

ei[ŋa]] つらら、水溜まりなどに張る氷

ekase[rü] ~ ekahe[rü] 知らせる

einjamo[ri]] 軒先の凍結による雨漏り

^dzi[ŋi]süürü 遠慮する

p.36 ki[se]rü 煙管

^dzigü[na]ei 意地がない

sügüdama[rü] 冷え切る

sü[ŋü]ri すぐり [樹]

sk[ke]] ~ sk[ka]i すっぱい

skota[ma] がっぽり (~儲ける)

ei^dzi[ga]rü 係わる

ei[^dzi]küsewa[ri]] 悪いくせ

+ eindzi[re] ~ eindzire[jü]gi 重くなつて、木からばさばさと落ちる雪(春の到来の印)

^dzise[ko] 法要

p.37 eتا(a)ⁿ[zi] 下味

eiⁿ[da]mi どんぐり

^dzidara[gü]] なまけ、だらしない

^dzit[ta]ri どっしり

[cip]pa 尻尾、端っこ、びり

^dzip[pa]ri たくさん

sp[pe]] すっぱい

ep[pe] ha[rü] 指はじきをする

eido[ge]] もみじがさ [山菜]

ei[na i]: 品格がいい、格好がいい

einaka[de]] しぶとい

p.38 eina^(m)bike[rü] しおれる

^dzina[rü] 怒鳴る

ei[ne]] 強勒

ei[no]rü たわむ

eppakire[on]zi 男の末っ子

epa[sa]mi 尻からげ

epa[ne]] はね水

ei^mba[ja] 芝居

ei^m[ba]rū 縛る、結う
 eiba[re]rū 寒気が強い
 eibitsge[ne]] だらしない
 tsüme[te] 冷たい

p.39 [sü]makko ~ [sü]ma 隅っこ

ei[ma]rū しまう
 eimi[do]:fū 凍豆腐
 eimi[rū] 凍みる
 eimoja[ge] 凍傷
 eimo[rū] 沁みる
 [d]zak]ko 小魚、川魚の一種
 eak[ko]i 冷たい
 eabe[kü]rū 言いまくる
 eabera[e]rū 言われる
 eabe[t eo]] 多弁者

p.40 ^dzü:[ne] 莢胡麻

+ ^dzü:ne[a]e 莢胡麻和え
 + ^dzü:ne[mo]zi 莢胡麻餅
 + ^dzügü:[re]rū (果物が) 熟れる (膿には使わない)
 [eü]deko シオデ [山菜]
 eoik[ko] 背負い商い
 [dzo:]i 居間の隣座敷で来客に用いる上居間
^dzo[mi] ガマズミ [樹]
^dzo[mi]zü (溜めて豚にやる) 台所汚水
 [dzo]:ri 草履
^dzo[sa ne]] ~ ^dzo[se ne]] 造作ない、簡単
 eot[teü]: 始終
^dzoppa[ri] 強情を張る者
^dzoppariko[gi] 強情っ張り
 eop[pe]] 塩辛い

p.41 ^dzi[ri] 霧雨

^dzü[rü]imonda ずるいこと
^dzin[dzo] ~ ^dzin[dzo]: 人形
^dzin^dzoci[ba]i 人形芝居
 eimba[ri] 戸締り用の棒
 sü[ŋa] ~ ei[ŋa] 氷柱、水たまりなどに張った氷

sügüdama[rü] 冷えて縮こまる

sügü[mü] 冷え切る

p.42 süne[rü] 差し込む

éizü[ga]rü 相手になる

süsü[ha]gi 年末の大掃除

dzüp[pa]fi たくさん

s[to] sürüna 係わるな

dzina[rü] 大声を出す

ei[ma]sü 返す

p.43 dzün[dzü]N どんどん

[se]: k*ü*[re]rü 精が切れる

sega[se]rü 急がせる

[se]gi 堀

[se]ko [ko]güna 節介するな

[se]koko[gi] 干渉する人

sedzi[ne]] 切ない

semak[ko]i 狹く窮屈

san[so]: 山椒

sewaei[ne]] 忙しい

p.44 son[dza]eta 仕損じた

sogo[ra] その辺

sokküri[ŋe]rü 反り返る

sotta(ra)[bek]ko ~ sono[bek]ko そんな少量

sotta[ra] そんな

sodo[me] ハナショウブ

sobakak[ke]] そば粉を練って伸ばして切ってゆでたもの

sobaki[fi] 細く切ったそば

p.45 sora[sü] (田畠などを) 放置する

sora[ma]do 天窓

soro[ge]rü 挿える

[da]i 誰

[ta]inisase[rü] 面倒をかける

tai[ne] 足りない + tai[da] 足りた + tar[i]rü ~ tai[rü] 足りる

p.46 tagaⁿ[dzo] 地下足袋

tagaramo[no] 役立たず、厄介者

taga[rü] 集まる、強請る

tagüraj[ke] 馬鹿者、おっちょこちょい人、常識外れのことを言う人

tagü[rü] (ページを) めくる tagüre[rü] (ページが) めくれる

+ tagü[rü] 手繰り寄せる

do[n]dzo] ドジョウ

tago[no]do[ŋü] 蝐の内臓

tago[no]bot[tɕi] 蝐の胴体

+ bot[tɕi] 頭

tago[be]ja 強制労務者の宿舎

tae[i]ni]na[rü] 為になる、役に立つ

da[d]zi[me]gü ジャージャー溢れる

da[d]zints[ke] 荷方

+ da[d]zin[駄賃

p.47 ta[d]zü[鮎の白子

ta[d]züga[ma]rü 摘まる

ta[d]zü[ga]rü 摘まる

~no[dat]ta ~の戸主

ta[de]rü (仔・卵を採るために) 飼育する

ta[na]gü 持つ + ta[na]itekoi 持って来い

dahaŋko[gi] 駄々をこねる人

+ [da]mbüri とんぼ

[da]ma よく溶けずに残っている粒状のかたまり

tama[ka]ze 北西風

p.48 tamagürame[me](n)dzü 白い輪のある太くて長いミミズ

tama[ŋe]rü びっくりする

da[ma]sü 子供をあやす、騙す

tamami[so] ~ misoda[ma] 煮て漬した大豆をボール状に丸めて乾燥したもの

damara[ga]sü 黙らす、騙す

[ta]me 斜視

tamo[d]zü[ga]rü しがみつく

tara[ga]sü 垂らす

+ da[ra]ko, dara[se]N 硬貨

tara[po] タラの木の若芽 (食用)

ta[re] 鹽

tanjiri[a]me 練り伸ばして白くした飴

tan[da]de[ne] 容易でない

p.49 dando[ri] 下準備

ta[na[^{おぶ}] 負い紐

teinja[rü] 違う

dzi[gü] na]e 意気地なし

te[ke] 近い

[tei]tei 同居する伯叔母

tein^dzi[re]ko 刺子短衣

tein^dzikü^mba[rü] 小さくなる (話者によっては tein^dziko^mba[rü])

teaka[ei[そそっかしい人

p.50 tea[ke] ~ teak[ko]i 小さい

tea[ram]po[ra]N 無責任

tean[tca]ŋko 袖無しの綿入半纏

+ dode[ra] 袖のある丈の長い綿入半纏

+ tan[^dze]N 半纏

[tca]nto ちゃんと

[tco]ŋi 尻拭き用の茎

[tco]sü いじる

teottogi[ma] ちょっとの間

teo[pe]tto 少し、ちょっとばかり

tska[ga]rü 蹤く

tskara[ma]rü (何かに) 摘まる

tske[ŋi] 火付け用の松の根

+ ke[ja]gi 檬

tsüŋiki[re] 布切れ

[tsüŋ]gi[ne] つまらない

p.51 tsü[ŋü] 縫い繕う

tske[na[漬物 (菜っ葉のに限らず)

tskkari[bo] 戸締り用の棒

tsü⁽ⁿ⁾dzüra[ŋo] 帯状疱疹

ts[to] 藦苞

+ tsto[nat]to 藦苞に包んだ納豆

tsüma[gu]rü ~ tsüma[ke]rü 蹤く

tsüma[ŋo[藦製の沓

wara[^dzi] 草鞋 (紐を足首に巻いて固定する)

wara[ŋü]tsü 藦製の長靴

waran[^dzo]ri 藦草履

tsümitsü[gu]ri 苦労すること

[tsüü]mi[to]ŋa 悪い行い

p.52 tsüüratsüü[gi] むつとした顔つき

tsüüratske[ne] 厚かましい

+ tsüü[ra] ^{つら} 面

kanya[mü] かじかむ

[te]ŋi 大儀、拍子木

+ de[ga]sü 完成する

[te⁽ⁱ⁾]go 太鼓

de⁽ⁱ⁾[ko]N 大根

^dzeŋko[te]ei お金の無駄使い

tagiŋite[ei] 薪の無駄使い

te^dzüüdara[ga]sü 手伝わせる

tek[ka] 手甲

dekkaraüü[so] 大きな嘘

[det]tara 大きな

tek[küü]i ヒラメ

p.53 [te]ndzüüma 手品

+ tendzüümats[ke]] 手品師

teŋip[pe] 手一杯

teⁿ[do]wa[ri]: 手際が悪い

de[nä]^dzüügi 出張り額

+ tenüü[ŋüü]i, teɸüü[gi]] 手ぬぐい

[de]no[e] ~ [da]no[e] 誰の家

de[ha]rüü 出る ([de]rüü も同意味。「勉強などができる」の意はない)

de^m[be]tco 出臍

te^mbo[ge]] 不器用

tema[da]re 手数

temadareküü[se]] 面倒くさい

teme[da] お前の家

+ te[nä]ŋa こそ泥

teŋ[ŋe] 大概、変わっている

teŋ[ŋo] 同じ

ten[de] 個々ばらばら

p.54 tendego[de]N ばらばら

den[de]mmüüei 蝸牛

to:[ei]] 初めから終わりまで

to:[ri] 土間の通路

toŋa^dzikada[ri] 他人のことを悪く言うこと

to[ŋi] ~ to[ŋe] 棘

toŋü[^dzi] 家の入口

to[ŋe]o, to[ŋjok]ko, toŋi[^dzok]ko イトヨ [川魚]

p.55 toke[ŋek]ko 交換し合うこと

to[ke]sü 取り返す to[ke]rü 交換する

tokesa[e]rü 取り返される

+ ba[ŋü]rü 交換する

[do]godari[ka]^dzüdari ~ [do]godari[ka]tsko どこでも

+ to[eo]rü 老いる

toⁿ[^dzü]gü 届く

totska[ma]rü 摺まる

tokküri[ge]rü ひっくり返る

tokküri[ma]rü 包まれる

[dot]tara どんな

+ [dot]tara(da)ç[to] どんな人 (あきれていう)

+ natta[ra] どんな

+ natta[ra]ç[to] ~ nattara[da]ç[to] どんな人 (あきれていう)

p.56 tot[tsü]rü 貝の中腸腺

toppaⁿ[^dzo]sü やり損なう、失敗する

toppa[na] 最先

dop[pe] びり

top[pe]rü 塞き止める

to[na] 飼葉

dobü[to]i ~ dobü[te]: 太い

to[bo]sü 火葬する

torieim[ba] クロモジ [樹]

toro[ke]rü 取り除く

+ toro[ge]rü 溶ける

+ [ɸü]güro 紐

+ ɸügü[ro] 袋

to[ra]^mba^dzi 奪い合い

p.57 doŋko[ro]] 大きい

+ doŋkoro[i]çei 大きい石

don[^dza] 刺子半纏 (漁師がよく着た)

[do]n^dzǖ 尻

[to]mbi 和服の上に男性が着用するマント

dom[be] どぶろく

+ [to]mbo 土をならす均し棒

[na] ~ n[na] お前

+ naŋa[ma]rǖ 横になる

nagibet[tɕo] 泣き虫

+ bet[tɕo]kagǖ べそをかく

[na]gürsǖ 紛失する

na[ŋü]rǖ 塗りたくる

p.58 nage[tɕi] ~ nage[tsǖ] 泣き虫

na[ŋe]rǖ 捨てる

naŋewa[ra]ei 放任された子供

nagahe[rǖ] 泣かせる

nagamaha[dzǖ]re 仲間外れ

naŋa[ra] 細長い小丸太

jama[no]naŋa[re] 穂線、尾根

+ naŋa[ma]rǖ 横になってくつろぐ

nandzǖ[gi] 額

[na]sǖ 生む

na[dzǖ]gǖ 慣れつく

p.59 na[ɸa] 菜っ葉

namakoko[gi]] ふざけ者

nama[ra] 凡そ

namarahaŋ[ka] 中途半端

namarahen[dzi] 曖昧な返事

nandzoka[ge] 謎かけ

[na]ntakan[ta] 是が非でも

[na]nda^dzǖigo[do]a [ne] 何のことは無い

+ nam[bǖ] 南部 + tsǖ[ga]rǖ 津軽

nam[bo] いくつ、いくら

p.60 niek[ko] 大根・人参・などを切って炒め、煎り豆腐と和えながら煮る料理

[ni]ŋa, niŋak[ko] 嬰児

nika[mǖ] いびつになる nikame[rǖ] 歪める

nikütara[ei] 憎らしい

niei[ma]rǖ 煮込んで味がよく染みる、煮込みすぎる

ni[da]^dzü ~ ni[da]rü 煮立つ

nidara[ga]sü ~ nedara[ga]sü 煮立てる

nidoi[mo] 馬鈴薯

ni[wa] 土間

p.61 nü[gü]i 暖かい

nügüda[ma]rü 温まる nügüda[me]rü 温める

nü[gü]rü 拭う

nü(t)ta[gü]rü 塗りたくる (話者によっては nüda[gü]rü)

[ne] 無い

[ne]go 猫、作業用背当て

+ nego[gü]rüma, [ne]go 手押し車

ne(k)ko[ma]rü ぬかるみにはまって動けなくなる

nesamera[ga]sü 目覚めさせる

ne^dzi[ŋe]rü 寝違える (話者によっては ne^dzi[ge]rü)

ne[da]rü 催促す

ne[da]rü ~ ni[da]rü 煮立つ

p.62 nettara[me]gü ~ nekkara[me]gü 粘っこい

neno[e] お前の家

nep[pa]rü 粘りつく

nepüka[ge] 眠りかけ

nepü[te] 眠い

ne[ma]rü (畳・板・地面などに) 坐る

nen[sa] お前の家に

nen[ne]ko 子守り用の綿入半纏

noda[ba]rü 地面に横になる、腹ばいになる

not[ta]ri たくさん

not[ta]ŋko, not[ta]do 大量

noppe[ra] 何もない土地、平らなところ

p.63 nohe[rü] 乗せる

no^(m)[be]rü 差し出す

no[me] ものもらい [眼疾]

nome[kü]rü つんのめる

no[ri][ka]rü 糊付けする

no[ro]pe 十センチほどの川魚、起きるのが遅い人

ba[o]ri イグサや菅で編んだ作業帽

baori[mo]^dzi そばか麦か澱粉を取った後の芋の粕で作る黒砂糖味噌餡

[ha]gai[gü̥ はかどる

p.64 haga[eo] 墓地

[ha]gi 簿

bagü̥[ro] 馬の仲買人

ba(ŋ)[ŋe[暗くなつてからの晩

+ baŋega[da[夕方

baŋe[sa[夕方

basa[me]gü̥, + basadzü̥[gü̥ うろうろ歩き回る

ha^{(n)d}ziga[e]rü̥ 仲間外れにされる

ha^{(n)d}zigaɛi^dzü̥[ra] 恥ずかしい思いをするから

ha^dzibiko[gi]] 嫉妬心が強い人

handza[me]au̥ 準備ができあがる

handzo[sü̥ 外す

haeo[rü̥ 端を折る、省略する

p.65 baei[ra]ŋü̥ じたばた騒ぐ

ha[he]rü̥, ha[ei]rü̥ 走る

+ hase[ma]rü̥ 走り回る

+ harü̥k^j[to]: 初春にお婆たちが村の各入り口で村を病気や悪霊から守るために行う祈祷

hadaga[rü̥ 広く開く

ha^{(n)d}da[ge]rü̥ そぎ落とす

bada^dzü̥[gü̥, bada[me]gü̥ あわててばたばたする

hatea[ŋe]rü̥ 跳ね上げる

[hak]kara こんなに早く

hakkjo[gi] 八卦をする人、預言者

bak[ke] 落の臺

+ bakke[mi]so 落味噌

hak[ke]rü̥ 走る

[pat]tei メンコ

p.66 bap[po おんぶ [子供に対して使う言い方]

ha[na] 濑粉

hanap[pe[鼻の先

[ba]ba うんち [幼児語]

ha^m[ba]gi, habagi[da]ge なら茸

habage[rü̥ 喉がつまる、あふれ出す

+ baba[ja]ⁿdo お婆たちが集まる集会所

hama[rü̥ 加わる

hajaçita[de]rū けしかける
ha[ja]sū 煽る
haja[ma]rū 腹ばいする、早まる
[ha]rakū[da]ri 下痢
[ha]ratsū[re] 腹いっぱい、満足
[ha]rape[ra]si 空腹
hara[bok]ke 妊婦

p.67 hanjakkū[se] 常識外れ

[pa]ŋko 一部禿げ
banjoko[ri] 場所確保
han[tca] 腰まである綿入半纏
[ha]ntske 仲間外れ
+ hampūka[ge] 中途半端
çka[gi] 十能
çka[da] 西風
çkara[bi]rū 乾燥する
bikūtara[me]gū びっこをひく
+ bikū[ta]rabikū[ta]ra ビッコビッコ [擬態語]
heta^m[ba]rū 疲れる
çteaka^m[bū] ~ hetceaka^m[bū] 膝頭

p.68 çkkara[ma]rū 引っ掛け絡まる

bik[ki] 蛙、少女
[bik]ko 片ちんば
[bit]ta 女子
bit[tco]kogū 苦労する
sa[ga]pira 坂
[bi]ro 涎 [子供に対して使う言い方]
biro[ka]ge 涎掛け
[ɸū]: wa[ri]: 風采が悪い
ɸ[ka]sū 蒸す、(おならを) する
+ [he] おなら
ɸkidama[ri] 雪の吹き溜まり
ɸügiwara[bi] 路と蕨

p.69 ɸū[ŋū]sū 取り壊す、ほぐす

[me] ɸū[gū]rū 亡くなる
çkūrū[me]rū ~ ɸkūrū[me]rū ひっくるめる

ɸ[ke] さかり、発情

ɸ[ke]same 盛衰、上がり下がり

ɸ[ke]rū 発情する（五段活用）

ɸū^dzamake[ei] 醜態晒し

bū^dzo[ho] 失礼

ɸū^dzori[ge]rū 反り返る

ɸū^dzi]ri 端

ɸs[pe]rū 密閉する、火にかけて焦がす

ɸ[ta]gū, ɸta[fa]gū 叩く

pū[ta]gū 叩く

p.70 ɸta[ŋū], ɸtane[rū] 塞ぐ

ɸ(t)ta[gū]rū ~ ç(t)ta[gū]rū ひったくる

ɸtei[ŋe]rū 捻挫する

būt[tea]gū 引裂く

ɸts[ke]rū 吹き付ける、くっつける

būtta[ŋi]rū 切る

ɸūt[tsū]gū くっつく

būtto:[ei] 引き続き

çp[pa]rū 引っ張る

+ ɸp[pa]rū 頑張る

ɸtsūbū[rū] 踏みつける

p.71 çtoga[da]ge ~ ɸtoga[da]ge 一食

çto[ge]ri ~ ɸto[ge]ri 一回

ɸ(ū)t[to]^dzi 同じ

+ çtonoro[ei] 人殺し

çto[ne] ~ ɸto[ne] 他人の家

çtome[a] wa[ri]: ~ ɸtome[a] wa[ri]: 気恥ずかしい、人目にさらされて体裁が悪い

çtome[ko]gū ~ ɸtome[ko]gū 他人を気にする

çimū[gū]rū ~ ɸūmū[gū]rū 無理に引剥る

ɸūmū[ei]rū かきむしる

çi[mo] 紐

ɸūradaje[rū] (話を) 広げる

p.72 ɸūrūkū[se]hana[ei] 古い昔の話

ɸūrū[ei] 古い

ɸūrūtane[rū] 広げる

ɸūrū[ma]sū 振り回す

ɸü̥[rɔ](ba) ta[de]rü̥ 風呂を沸かす

ɸü̥ndama[ga]sü̥ 駆す [強意]

ɸün̊džü̥ga[ma]rü̥ 摦まる [強意]

sega[he]rü̥ ~ sega[se]rü̥ 急がせる

be[go[牛

+ a[ga]bego 赤く塗った張り子の牛

begonoc[ta] 水芭蕉、座禅草

p.73 he̥dzi[ne] ~ se̥dzi[ne] 切ない

bedana[gi[小波もない凪

heta[ba]rü̥ くたびれる

heteaka[m̊[bü̥[膝頭

p.74 heteo[ŋe]rü̥ がっかりする

betta[ra] 平ら

het[teo[脣

het[teo]kogü̥ 難儀する

he̥[dekü̥]rü̥ 連れて来る

he̥[de]i[gü̥ ~ he̥[degu̥ 連れて行く

p.75 [be]be 着物 [幼児語]

heraga[sü̥ 減らす

heraka[re] いがらっぽい

[he]rü̥ 言う

[he](rü̥)na 言うな、するな

heŋkija[mi[神経質

getas[ke]:to ブレードが鉄製の下駄スケート

+ tageske·[to ブレードが竹製の下駄スケート

p.76 hoi[do[乞食

hoidokü̥[se 物欲しさが強い

ho[ga] 他所

ho[ga][ne]] 他所の家

bokka[ge]rü̥ 追いかける

ho[ge]] 盆供養

ho[ge]rü̥ (薄などが) 盛りを過ぎる

so[go] 其処

hogo[rü̥ 騒ぐ

[ho]ndzi[na]ci 愚かである

hosok[ko]i ~ hosok[ke] 細い

p.77 boⁿ[da]sü 追い出す

boda[mo]^dzi おはぎ

botta[gü]rü 法外な料金を取る、追い払う

hottara[ga]sü 放任する

bot[tei[女性の頭巾

hottsuqima[wa]rü 徘徊する

ho[do]rü ほてる、熱くなる

ho[nekara]] がりがり痩せている状態

ho[he]rü ~ ho[se]rü 干せる

p.78 [bo]bo 着物 [幼児語]

homa[^dzi[へそくり

boriŋek[ko[追いかけっこ

boribo[ri[なら茸

bo[rü 追う

horo[gü] ~ horo[rü 摆り動かして払い落とす、(箕で) 摆り動かす

horo[ei[発疹

bon[kü]ra 愚鈍

[ho]n^dzi o[do]sü 常識を失う

honto[ŋek]ko 本気で

p.79 bon[na] よぶすま草 [山菜]

bonno[kü]^mbo, üciero[kü]^mbi 後ろ首

ma[ga]sü (ちょっとした拍子に) こぼす

ma[ge]rü (意志的に) こぼす

mage[rü 負ける、値引きする

maga[na]rü それでし終える、装う

maga[he]rü ~ maga[se]rü 任せる

ma[gi[一族の血統

ma[gi]ri 小刀

[ma]gü[ne]: うまく行かない

magü[ne 不味い

magü[ra]rü 食べる [卑語]

[ma]ŋe 屋根裏物置

p.80 maⁿ[^dza]rü 混ざる

mandzora[ga]sü 混ぜ合わす

ma^dzi[no][çi[市日

mak[ka]] 豆類の脱穀などに使用するY字形の枝

mak[ko]] お年玉、脚立

mats[ko]i 眩しい (matske の発音はしない)

ma^dzüts[kai[周辺の里の住民が田名部の街に買い物などにでかけること

[ma]^dzübo 松藻 [海藻]

map[pi]rüma 真昼間

ma[de] 丁寧

+ ma[^dze]ro 待ってくれ + [ma]tsü 待つ

p.81 ma[na]gü 目

[ma]ma ご飯

mamata[gi] ご飯の支度をする人

[ma]mata[gü] ご飯の支度をする

+ ka[ei]gi, + mamaŋo[se] ご飯の支度

+ [ma]ma[hę]ra しゃもじ

+ çä[mo]^dzi おたま

mamatea[wa]_N ~ mama^dza[wa]_N 飯茶碗

ma[mi] アナグマ

mame[ei] 勤勉

mamecko[te]_N ~ mamecko[de]_N 足払い [子供の遊び]

+ mamema[gi] 豆まき [行事]

maja[me]gü うろうろする

marü[ŋü] 束ねる

marü[go] ムラサキイガイ [貝]

mandze[ra]gümandze[ra]gü 地震時に言うまじない

p.82 mizükü[re] 溺れること (「～で死んだ」のように使う)

miⁿzüma[ei] 洪水

misokoci[za]rü 味噌漬し

+ misoka[ja]gi 味噌貝焼き (下北の名物料理)

mi[sop]pa 歯並びの悪いこと、虫歯だらけの歯

miso[de]gü 技術未熟の大工

mitagü[na]ei 可愛気無し

mitagü[ne] 醜い

mip[pa] 見栄え

mimida[re] 中耳炎

mügattüs[ra] 憎い奴の面 [卑語]

mügürre[rü] 機嫌を悪くする

müge[do] 出迎い人

p.83 mǖcke[rǖ] 孵化する

mǖt[ta]ri いつもいつも

mǖnts[ke]rǖ 機嫌を悪くする (主に子供が)

mǖ[ri]kǖ[ri] むりやり

[mǖ]rǖ ~ [mo]rǖ 漏る

[me]: 美味い、前

[me] o[do]sǖ 死亡する

megāiko[gi] めかし込む人

meka[bǖ] 若芽の根

mejǖ[sa]re 眼病 (目から目やにがたくさん出る)

me[gǖ]dzira ta[de]rǖ 目くじらを立てる

p.84 megǖre[rǖ] めくれる

mek[ke]rǖ 見つける

mej[ko]i 可愛い

meda[ma] 蘭玉 [行事]

me^n[da]re 前掛け

megǖ[fa] 盲

nekko[me]ei 焚き損ないのご飯

me[na]gǖsürǖ 紛失する

me[me]^(n)dzǖ ミミズ

[me]rǖ 見える

[me]ŋko 可愛い子

meŋko[ga]rǖ 可愛いがる

p.85 [mo]ŋǖ 挿ぐ、折る mo[ŋe]rǖ 握げる、折れる

mǖgǖreojan^dzi[へそ曲がりおやじ

moteo[ko]i, moteo[ka]ri くすぐったい

mokki[ri] 盛り切り酒

mononjǖ[sa] 懶け者

mononjǖ[se] 物臭な

mono[kwa]ei 話の腰を折ること (話者によっては mono[ka]ei)

mo[mo]ta 太腿

p.86 mo[jo]rǖ 着物を着る

mon^dzo ka[da]ri 訳のわからないことをいう人

[ja]:[ja]do 急いで、すぐ

jagama[ei] うるさい

jagi[ba] 火葬場

p.87 ja[dzi] 湿地帯

+ nüta[ba] 湿地帯

[ja]dza[ne] どうしようもない

ja^dzüada[ri] 八つ当たり

jakka[mi] ねたみ、嫉妬

[ja]ts(ü)kets(ü) やれそれ (～言われて) (急かせる場合に言う)

jak[ko]i ~ jak[ke] 柔らかい

[jat]to 速く、急いで

p.88 jana[sat]te 明明後日

+ cia[sat]te 明明明後日 (goasatte と続かない)

ja^(m)ba[tei] 汚い

ja^mbüka[ra] 藪中 (話者によつては ja^mpüka[ra])

ja[ma]go 榆夫

ja[ma]se 北東の風

+ [ko]tei 東風

ja[me] てぐす糸

jame[do] 病人

ja[me]rü ~ [ja]mü 痛む

p.89 + jü[i] , jüi[ko] ~ jüe[ko] 力を貸し合う労務

jügika[gi] 除雪すること、除雪用のショベル

jügina[ŋe] (側溝などに除雪した) 雪を捨てるこ

jügija^m[bü] 雪だまり

jügüde[ne] ろくでない

[jü]:godoki[gi] 言うことを聞くいい子

jügü [ne] 悪い

jüssü [ŋü] 灌ぐ

jüssübüü[rü] ゆすぶる

joⁿda[re] 涎

jü[da]rü 煮立つ

jütsüŋa[sü] 握り動かす

jütsü[ke]rü 結いつける

jütsü[na]ŋü 結いつなぐ

p.90 jüts[pa]rü 結ぶ

jü[no]go 濃粉を熱湯で練ったもの

jüpü[te] ~ jübüü[te] 煙たい

[jü]^mbena 昨夜

jū[ma]gūre 湯あたり

jū[rū]gū[ne] 容易でない

jo:jarajat[to] ようやく

[jo]ŋa 蚊

jokka[ga]rū 寄りかかる

jo[gū][ko]gū 欲する

p.91 jo[gū]eɪ[gi[よくよく

jo[gū]taga[ri] 欲深、執念

jo[gū]tage[rū] 欲深する

jo[ge] 多い

jogeca[m]be]ri 要らないことまで言う人

+ jogo[sū] 寄こす jogosae[rū] 寄こされる

jogo[n]dza[戸主が坐る座

jogo[n]dzaha[ri[戸主を保っていること

jota[me]gū ~ jottara[me]gū ふらふらよろける

+ φūn[n]dza[r]a[me]gū ふらふらよろける

jok[ko] 用事

p.92 jode[ko[末っ子

jo[m]ba[rū] 招待してごちそうする jo[m]bae[rū] 招ばれる

jū[m][bi] 指

p.93 [ra]dzaaga[ne] 媒があかない、はかどらない

[ra]dzu[n]e] 本意が不明

ran[ki]tage[rū] 亂気になる

ran[te]a[粗暴、手荒

[wa] 私

[wa](:)ho 私の方、私の家

p.94 [wa]j[i] 私

waga[n]dze] 若衆

waga[ne] 驄目だ、解らない

waee[da] ~ wahe[da] 忘れた waee[ne] ~ wahe[ne] 忘れない

wata(ra)me[ga]sū 強行する

+ wappa[ri[上着 (話者によっては ūwappa[ri[)

wa[ja]da 大ごと

wa[fa[私 [女ことば]

wara[sa]n[do ~ wara[ha]n[do 子供たち

wara[e]i] 子供

wara[rü] 笑う

warawae[rü] 笑われる

p.95 warawara[do] 早く、急いで

wa[ri]: 悪い

waⁿ[dza]to わざと

waⁿ[dza]wandza わざわざ

[wa]ntska 僅か

n[na[, η[ŋa[お前

m[ma] 馬

p.96 ū[me[梅

m[me うまい

参考文献

秋田県学務部学務課（編）（1929）『秋田方言』秋田県学務部学務課.

上野善道（1991）「青森市方言の形容詞のアクセント」『アジア・アフリカ文法研究』19: 45-81.

上野善道（2019）「北奥方言の動詞のアクセント資料（1）」『国立国語研究所論集』17: 101-130.

川嶌柳三（編）（2002）『田名部辯語彙集』私家版.

工藤 祐（2008）『青森県南部地方の方言・民族（資料集）』（全3巻）私家版.

関谷徳夫（2013）『復刻版 吉里吉里語辞典』ハーベスト社.

成田秀秋（編）（2002）『木造町方言集—青森県西津軽郡一』青森県文芸協会出版部.

山村秀雄（1980）『青森県平内方言集』平内教育委員会.